



電子メール: support@tempered.io

電話: +1 206.452.5500 内線 2

www.tempered.io

3101 Western Ave.  
Ste.550  
Seattle, WA 98121

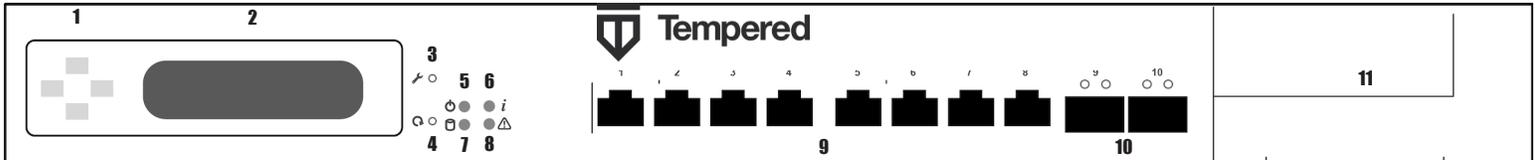
Conductor-500 および Airwall-500 は、既存の設備とデバイス間にプライベートのオーバーレイネットワークを構築する 1U ラックマウントのセキュリティアプライアンスです。

Conductor および Airwall にはそれぞれ、独自の 2048 ビットのパブリック/プライベートキーペア、および Tempered® 認証局までのトラストチェーンを確立する Tempered® 署名付き証明書が設定されています。Conductor と Airwall はこの証明書により相互に認証し、信頼できるネットワークにおいても信頼性の低いネットワークにおいても、安全な通信を確立します。

このガイドでは、Conductor-500 と Airwall-500 の両方の設定手順について説明します。



## 前面パネルのレイアウト



- |                     |                     |                      |
|---------------------|---------------------|----------------------|
| 1 LCD ディスプレイ操作用のボタン | 5 電源 LED            | 9 RJ45 イーサネットポート x 8 |
| 2 LCD ディスプレイパネル     | 6 アクティビティインジケータ LED | 10 SFP ポート x 2       |
| 3 診断/リセットボタン        | 7 ステータス LED         | 11 拡張ベイ x 1          |
| 4 (機能なし)            | 8 アラート LED          | (Airwall-500 専用の機能)  |

## 仕様

500 シリーズハードウェア	
イーサネットポート	GbE RJ-45 ポート (1000/100/10M)x 8 GbE SFP (1000/100M)x 2
イーサネット拡張ベイ	1
電源 (デュアル)	100~240 V、47~63 Hz
消費電力	最大 270 W
コントロール	再起動ボタン (ピンで作動) x 1 リセットボタン (ピンで作動) x 1 LCD ディスプレイユニット用の押ボタン x 4 電源アラートミュート (ユニットの背面) x 1
ディスプレイ	電源 LED x 1 アクティビティ LED x 1 ステータス LED x 1 アラート LED x 1 設定/管理用 LCD 前面パネル (2行 x 20文字) x 1
保管温度範囲	-20~70°C (-4~158°F)
動作温度範囲	一次電源: 0~+45°C (+32~+113°F) 二次電源: 0~+40°C (+32~104°F)
動作湿度	5~90%、結露なきこと
寸法	幅 450 mm x 奥行き 430 mm x 高さ 44 mm (幅 17.7 インチ x 奥行き 16.93 インチ x 高さ 1.74 インチ)
設置	1U ラックマウント
重量	8.5 kg (18.74 lb)

イーサネット拡張モジュール: 2 ポート SFP+ (Airwall-500 のみ)	
イーサネットポート	10GbE SFP+ x 2
タイプ	光ファイバー

イーサネット拡張モジュール: 8 ポート RJ45 (Airwall-500 のみ)	
イーサネットポート	1GbE RJ45 x 8
タイプ	銅

イーサネット拡張モジュール: 8 ポート RJ45/SFP (Airwall-500 のみ)	
イーサネットポート	1GbE RJ45 x 4 1GbE SFP x 4
タイプ	組み合わせ

**安全性および警告**

**動作環境温度の上昇:** 密閉された環境に設置する場合は、動作環境温度が製造元の指定する最高環境温度に適合するか確認してください。

**通気の減少:** 設置の際、機器の安全な動作に必要な通気量が損なわれないようにしてください。

**機械的荷重:** 不均等な機械的荷重のために機器の取り付けが危険な状態になっていないことを確認してください。

**回路の過負荷:** 機器から電源回路への接続および回路の過負荷が過電流保護と電源の配線に及ぼす可能性がある影響を考慮する必要があります。この点に対応する際は、機器の銘板定格を適宜考慮してください。

**爆発の危険:** 電源が取り外されているかまたは危険性のない場所であることが分かっている場合を除き、機器を切断しないでください。

規制認可	
CE	EN 55032: 2015 / AC: 2016 CISPR 32: 2015 (Ed 2.0) / C1: 2016 EN 61000-3-2: 2014, EN 61000-3-3: 2013 EN 60950-1:2006+A11:2009+A1:2010+A12:2011+A2:2013 EN 55024: 2010 + A1: 2015
IEC	IEC 60950-1:2005 (2nd edition), Am 1:2009, Am 2:2013
FCC/IC	FCC Part 15B 2016 クラス A, CAN ICES-003 クラス A
AS/NZS	CISPR 32: 2015 CISPR 32: 2015 (Ed 2.0) / C1: 2016
VCCI	VCCI-CISPR 32: 2016

## Conductor-500 のプロビジョニング

Conductor のアンダーレイポートには、固定 IP アドレスが設定されています。初期セットアップを続行するには、Conductor のポート 1 にワークステーションを接続します。

### 手順 1: ログインしてシステム管理者アカウントの安全を確保する

1. Conductor には、IP アドレス `192.168.56.2` が設定されています。
2. 使用するコンピュータに `192.168.56.0/24` サブネット内の IP アドレス (`192.168.56.100` など) を設定します。
3. Web ブラウザで `https://192.168.56.2` にアクセスします。
4. デフォルトのシステム管理者ユーザー名 `admin` を入力します。
5. デフォルトのシステム管理者パスワード `admin123` を入力します。
6. デフォルトのシステム管理者ログイン情報の変更が求められます。

### 手順 2: Conductor をアンダーレイに接続する

システム管理者アカウントの安全を確保したら、設定済みの NIC を使用して Conductor をアンダーレイに接続します。Conductor をアンダーレイに接続し、初期セットアップ中に設定したホスト名または IP アドレスで Web ベースの管理者 UI にアクセスします。

### 手順 3: Conductor のシステム設定情報を入力する

Conductor UI にログインしてデフォルトのログイン情報を変更すると、Conductor の基本的な設定情報を入力するためのシステム設定ダイアログが表示されます。

[**Network Adapter 1 (ネットワークアダプタ 1)**] または [**Network Adapter 2 (ネットワークアダプタ 2)**] で、次のいずれかを選択します。

- 共有ネットワークから動的に IP アドレスを取得する DHCP。
- Conductor の DNS ホスト名。DNS 登録のためこのホスト名が DHCP 要求に含まれます。
- アンダーレイで有効な固定 IP アドレス。

**注記:** [**Update Settings (設定の更新)**] をクリックすると、設定した値の適用と同時に Conductor への現在の接続が失われる場合があります。設定が完了したら、Conductor に再度ログインできるようになります。

## Airwall-500 のプロビジョニング

Airwall の初期プロビジョニングと、ローカルでの制御に最適な設定または Conductor への接続に依存しない設定は、診断モードで行います。

### Airwall を診断モードにする方法:

前面パネルの **診断/リセット** ボタンを 3 秒間長押しします。ユニットが診断モードになると、ステータス LED が一定のパターンですばやく点滅します。

**注意:** Airwall が工場出荷状態にリセットされるため、再起動ボタンを 5 秒以上長押ししないでください。

診断モードになると、すべてのデバイスネットワークポートが一時的にブリッジされ、一時的な IP アドレス `192.168.56.3` が割り当てられて、各ポートに対して DHCP サーバーが一時的に有効になります。この設定では、ワークステーションに直接接続し、デバイスのネットワークポートで有効な基本の Web UI から診断モード UI にアクセスすることができます。この UI では、基本的な設定や情報の表示を行えます。

Conductor は、複数の Airwall を一元的に設定、管理するポイントのため、Airwall 側でアンダーレイの Conductor を検知できなければなりません。

### Airwall を設定する方法:

1. Airwall の電源を入れます。
2. 前述の手順で Airwall を診断モードにします。
3. DHCP で IP アドレスとネットマスクを取得するようにワークステーションを設定してから、HiPswitch のいずれかのデバイスネットワークポートに接続します。
4. ワークステーションで Web ブラウザを開き、`http://192.168.56.3` にアクセスすると、診断モードのユーザーインターフェイスが表示されます。
5. [**Configuration (設定)**] ドロップダウンをクリックし、[**Conductor URL**] をクリックして、[**Host (ホスト)**] フィールドに Airwall Conductor の URL、[**Port (ポート)**] フィールドには `8096` を入力します。
  - Airwall Conductor のホスト名が `conductor-01.example.com` の場合は、URL に `https://conductor-01.example.com` と入力します。
  - Airwall Conductor の IP アドレスが `192.168.56.2` の場合は、URL に `https://192.168.56.2` と入力します。

**注記:** ポート 8096 に接続するため、必ず HTTPS を使用してください。
6. [**Send (送信)**] をクリックします。
7. 診断モードユーザーインターフェイスの [**Diagnostic/Reboot (診断/再起動)**] ボタンを押すか、Airwall の電源を入れ直して再起動すると、通常の動作モードに戻ります。Airwall のプロビジョニングが正常に完了すると、Conductor ユーザーインターフェイスに Airwall がオンラインとして表示され、詳細な設定および管理を行えるようになります。

## その他のドキュメント

500 シリーズハードウェアの設定および管理について詳しい情報が必要な場合は、ヘルプコンテンツをご覧ください。ヘルプコンテンツにアクセスするには、<https://webhelp.tempered.io/webhelp> でアカウントにログインし、ページ上部の [**Documentation (ドキュメント)**] リンクを選択します。